

第2回周辺住民意見交換会

平成28年2月6日（土）

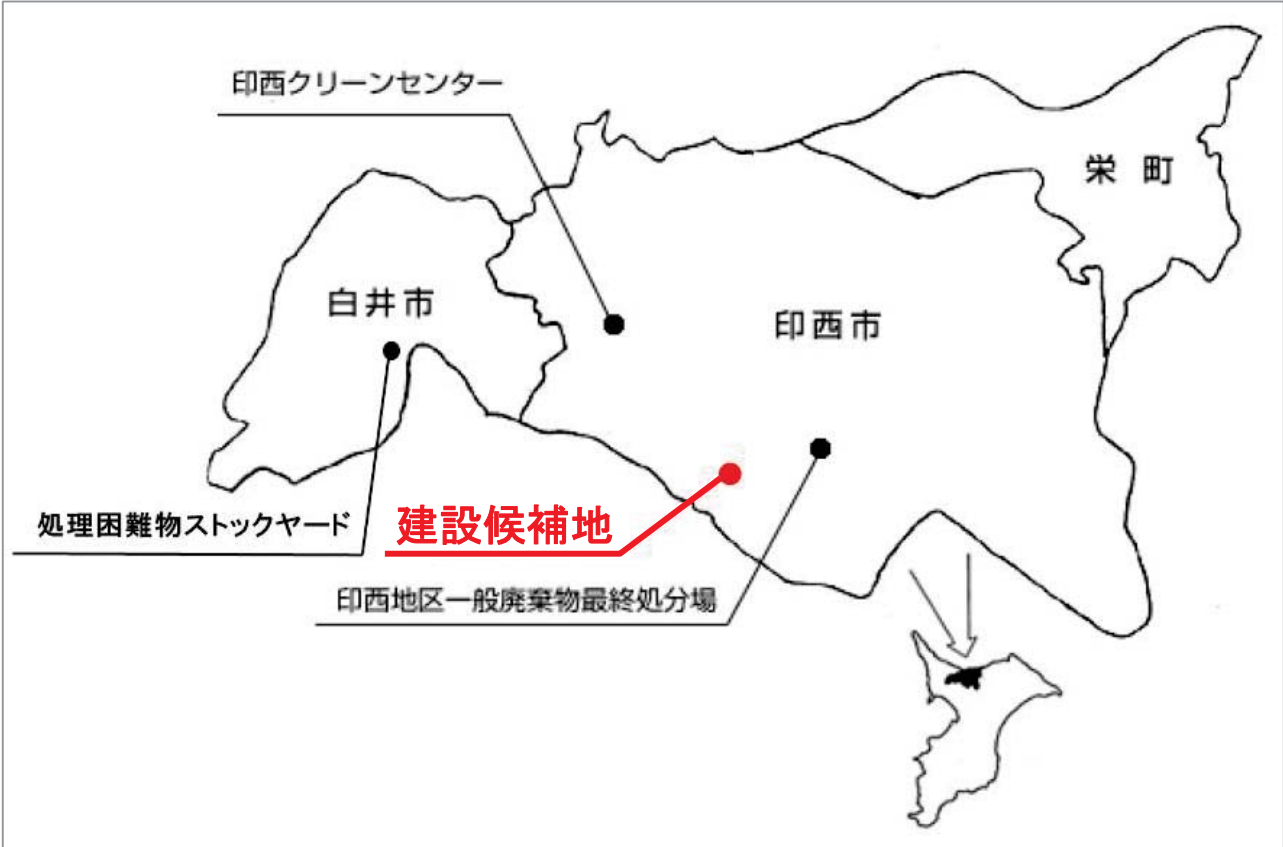
印西地区環境整備事業組合

次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会

次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会

次期中間処理施設整備基本計画（案）

次期中間処理施設 建設候補地位置

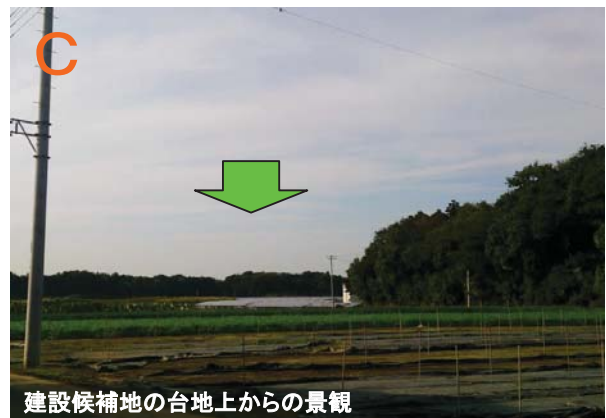
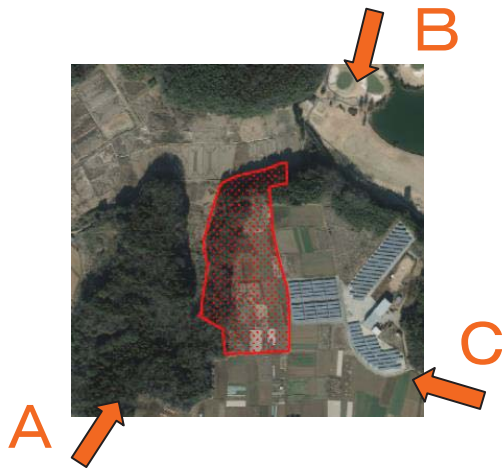


次期中間処理施設 建設候補地



住 所	印西市吉田地先
敷地面積	約 2.6 ha

次期中間処理施設 建設候補地の景観



次期中間処理施設整備の基本方針

【基本方針】

(1) 地域住民等の理解と協力を確保する安全・安心な施設整備

- 吉田地区及び周辺自然环境と調和した施設整備を図る。
- 地域住民の理解と協力を確保し、安全・安心な恒久施設となり得る施設整備を図る。

(2) 循環型社会形成と地域活性化の拠点となる施設整備

- 循環型社会形成を目指すことと併せ、ごみの持つエネルギーを最大限に活用した地域へのエネルギー供給、雇用創出を図る。
- 地域の特性や資源を活かし、地域活性化に寄与するほか、大規模災害時には避難・救護のための防災拠点※1の役割と災害廃棄物を迅速に処理する復興拠点※2としての役割を果たす施設として整備を図る。

(3) 経済性と高度なシステムの両立を目指した施設整備

- 効率かつ経済性を考慮した最新技術の導入を図る。
- 施設整備から運営に至る全段階において経済性に配慮した検討を行い、最適な事業方式の選定を図る。

※1：施設内スペースを活用した一時的避難場所や緊急的救援・救護場所の機能

※2：災害廃棄物の適正処理とエネルギー供給の機能

次期中間処理施設の施設規模の見込み

施設	処理能力	運転時間
焼却施設	156 t/日	24時間 連続運転
資源化施設 (リサイクルセンター)	15 t/日	5時間 運転

リサイクルプラザ機能

地域振興策等との連携を考慮し整備

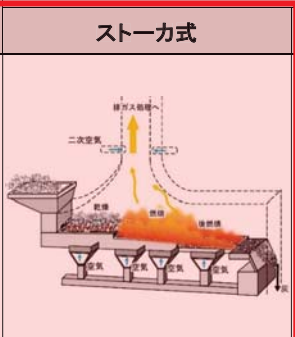
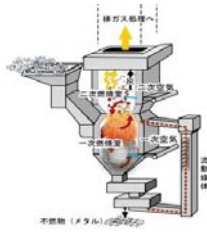
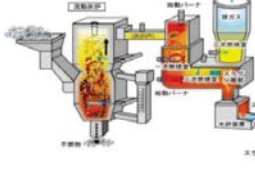
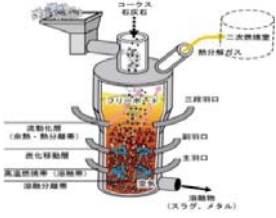
機能(例) ◇不用品の修理・再生

◇再生品の展示や不用品の交換・流通

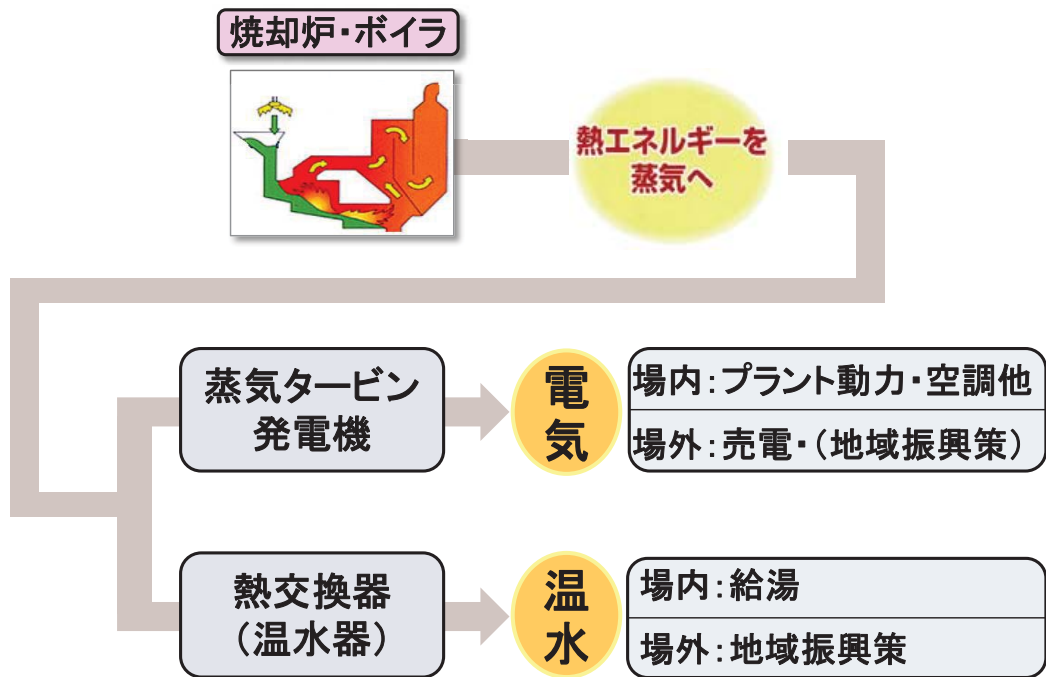
◇リサイクルに関する体験及び環境学習ならびに情報交換・啓発

◇地域や市民団体の活動支援のためのコミュニティ形成

処理方式の比較・選定

項目	焼却方式		ガス化溶融方式(溶融生成物の再資源化)	
	ストーカ式	流動床式	流動床式	シャフト式
処理フロー				
整備実績 (平成20~30年度)	56件 他の方式に比べて、国内に数多くの実績を有しており、信頼性は高い。	2件 最近の採用実績は極めて少ない。	9件 流動床炉から流動床式ガス化溶融炉へ移向が強い。	15件 ガス化炉の中では、最も多い実績を有している。
安全・安定性	◎	○	○	◎
エネルギー生産性	◎	◎	○	○
地球環境への配慮	◎	◎	○	○
経済性	◎	◎	○	△
建設工事費 (百万円/(t/日))	47.0	47.0	44.8	56.1
用役費 (円/t)	1,918	1,918	3,238	5,185
方式の評価	◎		○	

発電、熱利用の方向性及びエネルギーバランス



単なる『清掃工場』にとどまらない、『エネルギー回収施設』として、地域活性化に貢献する施設

次期中間処理施設の排ガス自主規制値

項目	ばいじん (g/m ³ N)	SOx (ppm)	HCl (ppm)	NOx (ppm)	DXNs (ng-TEQ/m ³ N)	CO (ppm)	水銀
基準値	0.04	1,900※1	430	250	1※2	30	—
適用法令 他	大気汚染防止法				ダイオキシン特措法	※3	—
自主規制値	0.01	20	20	50	0.05	30	※4

※1: $q=K \times 10^{-3} \times He^2$ (K=9 He=59m)

※2: 156t/日 2炉構成 (2.0 t/h < 3.25t/h < 4t/h:1)

※3: 「ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン」

※4: 水銀の排ガス処理規制の動向により検討

煙突高さと構造上の制約

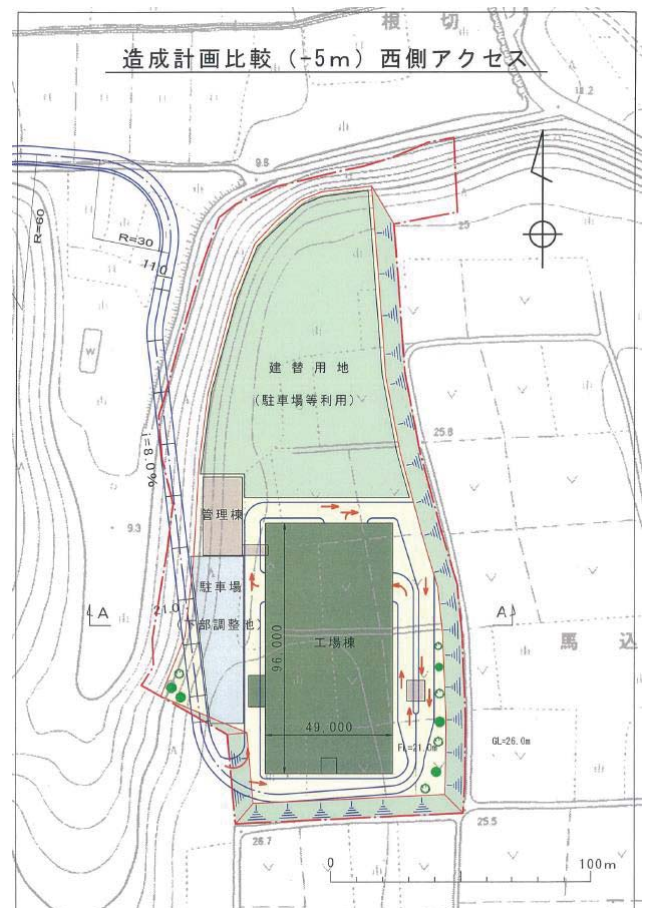
	59m	60m以上※
採用実績	・最多	・59mより少
排ガス拡散効果	・十分な拡散効果	・高い方が拡散効果大
航空障害灯	・不要	・必要
建築基準法	・高層建築物扱い	・超高層建築物扱い

次期中間処理施設の防災拠点機能化

項目	対策
耐震設計	重要度係数1.25を適用
災害時の電源	災害時の始動用電源を確保
熱エネルギー供給先	地域振興施設
避難所機能等の活用	地域振興施設と次期中間処理施設が一体となった防災拠点化
災害ごみストックヤード	建替え用地等の活用

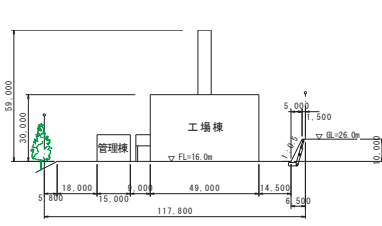
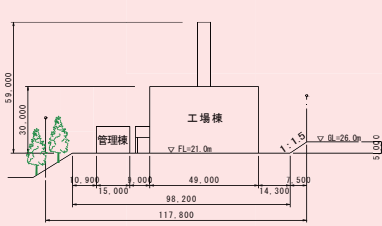
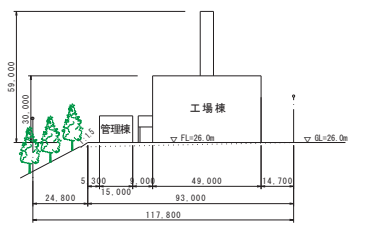
全体配置計画

- ◇ **管理棟**
 - ・敷地の制約等により、工場棟一体整備も考慮
- ◇ **調整池及び雨水排水路**
 - ・雨水浸透施設等による調整池規模の縮小検討
 - ・雨水排水路は、地域振興策等と総合的に検討
- ◇ **敷地内における車両及び歩行者の動線**
 - ・一方通行を原則、車両運行上の安全確保
 - ・歩行者のための歩行スペースの確保
- ◇ **施設見学者ルート**
 - ・収集車両動線と交差しない見学者ルートの確保
 - ・工場棟内に見学者専用通路の確保
- ◇ **施設デザイン及び景観**
 - ・周辺自然環境との調和、ユニバーサルデザイン
- ◇ **自然環境の保全、敷地内緑化、自然・再生エネルギー利用**
 - ・太陽光等の自然・再生エネルギーの積極的な活用
- ◇ **施設配置**
 - ・地形、面積、周辺地域の道路状況を考慮した造成計画



造成計画比較検討表

地盤条件・景観・地域振興策との調和が必要であり、今後の調査結果と周辺住民との協議により決定

項目	基盤切下方式(-10m)	基盤切下方式(-5m)	平地方式
概要			
有効面積	1.90 ha	1.76 ha	1.75 ha
造成工事 施工年数	1.1年(3班施工)	0.2年(3班施工)	0.1年(1班施工)
課題	1. 擁壁施工時の隣地の協力	1. 建替時の重機足場等、施工ヤード、駐車場の確保	1. 建替時の重機足場等、施工ヤード、駐車場の確保
	2. 建替時の重機足場等、施工ヤード、駐車場の確保	2. 建替時の施設稼働への影響(パッカー車等と工事車両の錯綜)	2. 建替時の施設稼働への影響(パッカー車等と工事車両の錯綜)
	3. 建替時の施設稼働への影響(パッカー車等と工事車両の錯綜)		
経済比較			
計画概要	・掘削土の利用:地域振興策での利用を想定し、運搬距離は2km以下を設定	・掘削土の利用:なし	・掘削土の利用:なし
	・基礎杭長:支持層を原地盤-50mと設定L=40m	・基礎杭長:支持層を原地盤-50mと設定L=45m	・基礎杭長:支持層を原地盤-50mと設定L=50m
概算 工事費	864,000,000	378,000,000	432,000,000

※ 経済比較欄の金額は比較概算額として試算

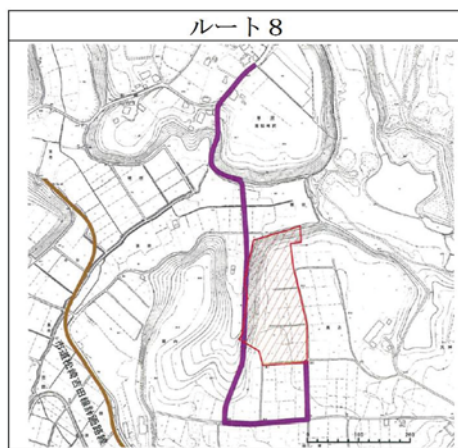
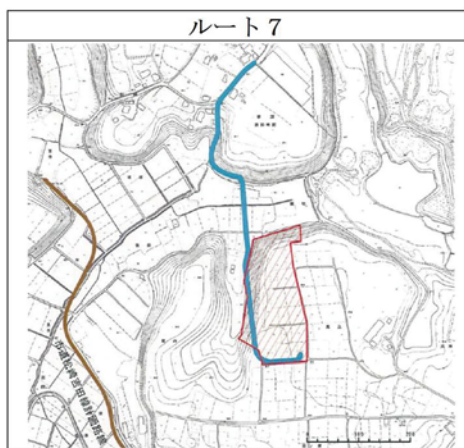
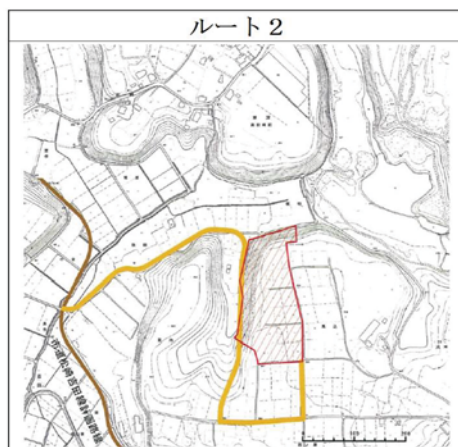
アクセス道路ルート比較

地域振興策との連携等、今後の詳細検討により、最終的なルートを決定

	ルート1 ①	ルート2 ②	ルート3 ③	ルート4 ④	ルート5 ⑤	ルート6 ⑥+③	ルート7 ⑥+⑦+①	ルート8 ⑥+⑦+②
1 総延長	720m	1,060m	1,160m	560m	490m	1,110m	730m	1,040m
2 高低差	造成高-10m 8m(8m~16m) 最急勾配 5.0%					15m(11m~26m) 最急勾配 9.0%	15m(11m~26m) 最急勾配 6.5%	
	造成高-5m 13m(8m~21m) 最急勾配 8.0%	18m(8m~26m) 最急勾配 7.0%	18m(8m~26m) 最急勾配 7.0%	18m(8m~26m) 最急勾配 9.0%	18m(8m~26m) 最急勾配 9.0%	15m(11m~26m) 最急勾配 7.0%	15m(11m~26m) 最急勾配 8.0%	15m(11m~26m) 最急勾配 7.0%
	造成高0m 18m(8m~26m) 最急勾配 10.0%					15m(11m~26m) 最急勾配 7.0%	15m(11m~26m) 最急勾配 10.0%	
3 整備コスト	造成高-10m 2.2億円	3.9億円	4.1億円	2.4億円				
	造成高-5m 2.7億円	3.2億円	3.5億円	1.7億円	1.5億円	3.3億円	2.2億円	3.1億円
	造成高0m 2.7億円							
その他		+液状化対策費		+液状化対策費 +法面補強費	+崖掘削費用 +法面補強費	+液状化対策費		
4 アクセス道路に活用する敷地等	既存道路の拡幅及び一部新設 地権者数等:多		既存道路の拡幅 地権者数等:多	既存道路の拡幅及び一部新設 地権者数等:少		既存道路の拡幅及び一部新設 地権者数等:多 地権者数等:少 地権者数等:多		
5 既存道路の利用形態の現況		既存道路周辺耕作地への往来車両				既存生活道路(印西市松崎区)及び既存道路周辺耕作地への往来車両		
6 搬入車両の往来による周辺地区への影響		影響が少ない。				印西市松崎区の集落内を通過するため、沿線住民に影響を与える。		
7 搬入車両と一般交通車両の通行の分離	完全に分離	分離可能		分離可能	分離できない可能性大	分離可能	完全に分離	分離可能
8 事業難易度		障害が少なく、容易		土砂災害特別警戒区域工事が障害となり、難		沿線住民との折衝が障害となり、難		
総合評価	全体に最も優位性が高い	ルート1に比べ経済性に劣る		全体に優位性が低い			事業難易度が高い	
	◎	○	-	-	-	-	△	×

※ 整備コスト経済比較欄の金額は比較概算額として試算

アクセス道路ルート図



事業方式

項目	DB方式 (公設公営方式)	DBO方式 (公設民営方式)	PFI方式 / BTO方式 (民設民営方式)
事業スキーム			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ◇資金調達 : 公共 ◇設計・建設 : 民間 ◇所有 : 公共 ◇運営・維持管理 : 公共又は民間委託 	<ul style="list-style-type: none"> ◇資金調達 : 公共 ◇設計・建設 : 民間 ◇所有 : 公共 ◇運営・維持管理 : 民間委託(長期包括) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇資金調達 : 民間 ◇設計・建設 : 民間 ◇所有 : 公共 ◇運営・維持管理 : 民間委託(長期包括)
近年の動向	導入例が多い。	導入例が多い。 要因: 公共の起債利息<市中銀行借入金利息	導入例が少ない。
LCC (20年間)	LCC(公共財政負担額): 6,831,853千円 VFM 算定基準額	LCC(公共財政負担額): 6,250,615千円 VFM : 9%	LCC(公共財政負担額): 6,616,834千円 VFM : 3%
発注の方法	価格競争入札方式	総合評価競争入札方式 (プロポーザル方式)	プロポーザル方式 (総合評価競争入札方式)
総合評価	—	有効な事業方式	競争性の確保に懸念

※ LCC(ライフサイクルコスト)の金額はVFM(支払に対し、最も価値の高いサービス供給)算定の比較用として試算

建設時及び運営時の対応

◇ 建設時における運営時の環境及び自然環境への配慮

千葉県環境影響評価条例に基づき、生活環境及び自然環境に配慮

◇ 運営時の監視体制

① モニタリング体制

安全・安定的な操業状況の監視体制の構築

- ・周辺住民等で組織する協同機関の設置
- ・排ガス等の自主規制値等を定期的に確認するモニタリング体制

② 環境測定

- ・モニタリングポスト等の設置
(排ガス測定値の表示)
- ・運転実績のホームページ上への掲載
(徹底した情報公開)

◇ 情報公開(地域の安全、安心の確保)

工事期間及び運営・維持管理期間中の
徹底した情報公開

焼却炉排ガス測定値			
	1号炉	2号炉	3号炉
休炉中			
ばいじん濃度	---	0.00	0.00 mg/Nm ³
窒素酸化物濃度	---	54	46 ppm
硫黄酸化物濃度	---	6	4 ppm
塩化水素濃度	---	26	12 ppm

印西クリーンセンター
モニタリングポスト

地域振興策（案）

1. 印西地区ごみ処理基本計画の一部抜粋

次期中間処理施設整備基本方針

ごみの持つエネルギーを最大限有効に活用できる施設とし、高効率な発電や地域特性に応じた熱供給などによる地域還元に取り組みます。

2. 次期中間処理施設の候補地を募集 (平成26年1月～3月)

募集要項の一部抜粋

- ① ごみの持つエネルギーを最大限有効に活用できる施設とし、**高効率な発電や地域特性に応じた熱供給などによる地域還元**に取り組みます。

募集要項の一部抜粋

- ② 最新のごみ焼却施設は、単にごみを焼却処理するだけでなく、焼却の際に発生する熱エネルギーを活用する発電施設であり、環境学習にも活用されるなど、**地域の特性に応じた地域活性化**への寄与が大きく期待できる施設でもあります。

募集要項の一部抜粋

③ 地域活性化へ寄与する地域振興については、建設候補地の決定後に周辺住民の皆様と協議してまいります。

3. 印西市吉田区の地権者グループが応募（平成26年2月）



4. 印西市吉田区から条件付の「同意書」が組合へ提出される。(平成26年7月)

内容

吉田区地権者グループより応募がなされた次期中間処理施設候補地について、貴組合が最も適地と判断された場合、吉田区が希望・提案する地域振興策を真摯に受け止め、協議の上両者の妥当な合意を見だし、これを担保することを条件に受け入れに同意する。

5. 印西市吉田区から「排熱利用と産業振興を中心とする地域振興案」が組合へ提出される。(平成26年7月)

分野ごとに、たくさんの地域振興策をご提案いただきました。(全45案)

- | | |
|------------|------------|
| ①観光(9案) | ⑥産業(7案) |
| ②健康増進(5案) | ⑦防災(3案) |
| ③吉田区還元(7案) | ⑧青少年育成(3案) |
| ④公共施設(5案) | ⑨人口維持(1案) |
| ⑤農業振興(2案) | ⑩インフラ(3案) |

6. 管理者・副管理者会議による建設候補地の選定結果 (平成26年11月)

総合評価の一部抜粋

吉田地区の地元町内会である吉田区から「事業誘致に関する同意書」及び「地域振興策の具体的な提案書」が提出されたことなどを総合的に勘案すると、**次期中間処理施設と共に育む長期的な地域づくりについて、特段の優位性が認められると考えられる。**

7. 印西市吉田区と組合が基本協定書を締結 (平成27年3月)

基本協定書の一部抜粋

第5条：吉田区と組合は、地域振興策検討委員会による答申を踏まえ、協議のうえ両者が合意する地域振興策を決定する。

8. 地域振興策検討委員会による調査審議（平成27年5月～）

吉田区から提案のあったアイデアを基礎としながら、以下の点などを踏まえ地域振興策検討委員会で調査審議を進める。（前提として地元町内会を吉田区、周辺町内会を松崎区とする。）

- (1) 地域に求められる将来像
- (2) 地域の魅力や優位点
- (3) 地域の課題
- (4) 周辺の既存施設

(1) 地域に求められる将来像

- 次期中間処理施設を恒久的な施設として位置付けた際、地域振興策は、今後の社会情勢がどのように変化しようとも変わる事のない「誰もが持つ不変的な価値観」を重視すべきと考える。

- ① 周辺住民が安定的に経済的な恩恵を受けることが可能な「収益スキーム」を構築すること。
- ② 「賑わい」が創出されること。
- ③ 「雇用」と「就労」の場が創出されること。
- ④ 「農業振興」が図られること。
- ⑤ 里地里山の「景観維持」が図られること。
- ⑥ 対外的及び次世代に対し「誇り」を持てること。
- ⑦ 「持続可能性」が図られること。

(2) 地域の魅力や優位点

- ① 静寂に包まれた場所が点在
- ② 近隣に大規模住宅群
- ③ 活発な地域コミュニティ
- ④ 日本の原風景たる里地里山
- ⑤ 猛禽類の生息
- ⑥ 貴重な未改修水路(土水路)が現存
- ⑦ 近隣に印旛沼放水路(新川)
- ⑧ 建設候補地周辺の広大な台地
- ⑨ 台地からの眺望

(3) 地域の課題

- ① 少子高齢化(地域社会の永続)
- ② インフラの不足
(上下水道・道路・公共交通)
- ③ ポイ捨て・不法投棄・防犯
- ④ 防災
- ⑤ 農業の担い手不足
- ⑥ 土地利用のコントロール

(4) 周辺の既存施設

- ①ゴルフ場
 - A. 泉カントリー倶楽部
 - B. 総武カントリークラブ
- ②松崎工業団地
- ③印旛西部公園
- ④サバイバルゲームフィールド
- ⑤学校法人西村学園
(印西しおん幼稚園)
- ⑥学校法人 時任学園
- ⑦障がい者支援施設(いんば学舎)
- ⑧ 吉野牧場(乳牛)
- ⑨ 飲食店等
- ⑩東京成徳大学(八千代市)
- ⑪少年自然の家(八千代市)
- ⑫泉腹寺薬師堂(国指定文化財)
- ⑬印旛歴史民俗資料館
- ⑭銅造不動明王立像(国指定文化財)
- ⑮印西牧の原駅(最寄駅)
- ⑯ふれあいバス

9. 調査審議の結果、全100策のアイデアを抽出し、4つの展開種別に分類する。

地域まるごとフィールドミュージアム構想

- (1) 地域の持続と再生に必要なインフラ整備等
- (2) 地域内外の人々が集う多機能な複合施設
- (3) 次期中間処理施設からの排熱利用事業等
- (4) 里地里山の保全と活用

(1) 地域の持続と再生 に必要なインフラ整備等

(1) 地域の持続と再生に必要なインフラ整備等 ① 印西市ふれあいバスの延伸・拡大



(1) 地域の持続と再生に必要なインフラ整備等
② 道路の危険箇所修繕



(1) 地域の持続と再生に必要なインフラ整備等
③ 水道整備



(1) 地域の持続と再生に必要なインフラ整備等
④ 下水道整備



(1) 地域の持続と再生に必要なインフラ整備等
⑤ 防犯監視カメラ



(1) 地域の持続と再生に必要なインフラ整備等

⑥ 地域振興施設の無料化



無料チケット



(1) 地域の持続と再生に必要なインフラ整備等

⑦ 健康支援の拡充



(1)地域の持続と再生に必要な インフラ整備等

事業スキーム(公設公営)



(1)地域の持続と再生に必要な インフラ整備等

供用開始時期

整備協定後、速やかに着手する
ことを基本として検討を進める。

(1) 地域の持続と再生に必要な インフラ整備等

検討委員会における評価の一部抜粋

評 価	今後の協議
<ul style="list-style-type: none">◆持続可能なまちづくりを支える基盤◆比較的短期間のうちに確実に一定の効果を発揮◆収益・賑わい・雇用創出に対し、直接的に貢献する要素は少ない。	<ul style="list-style-type: none">◆次の事項を睨んだ十分な検討と選択が求められる。<ul style="list-style-type: none">・整備効果・事業費

(2) 地域内外の人々が 集う多機能な複合施設

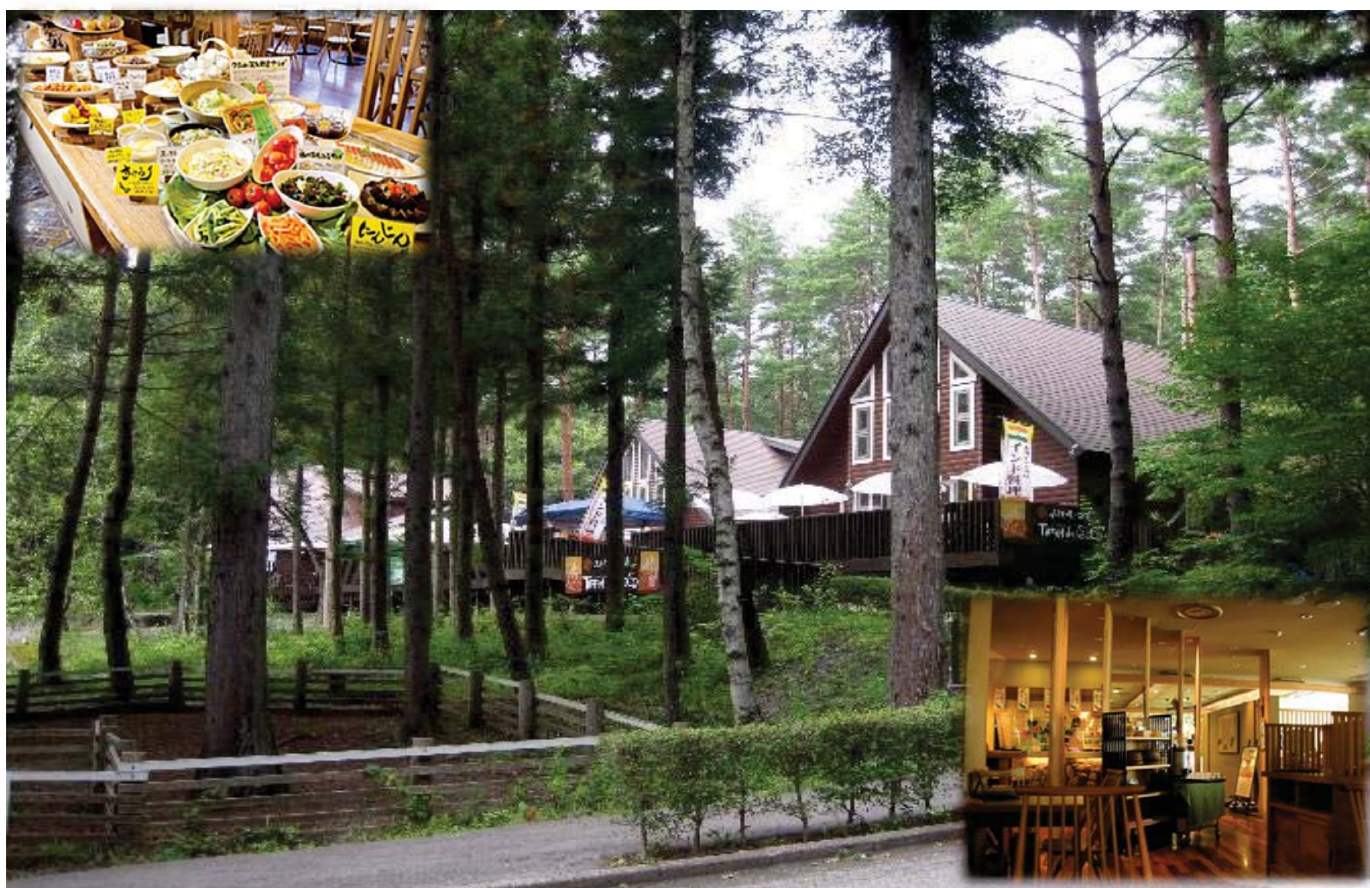
(2) 地域内外の人々が集う多機能な複合施設

① サンセットスパ&リゾート



(2) 地域内外の人々が集う多機能な複合施設

② 全国公募による外食店



(2) 地域内外の人々が集う多機能な複合施設

③ 農作物等の直売所



(2) 地域内外の人々が集う多機能な複合施設

④ 環境図書室



(2) 地域内外の人々が集う多機能な複合施設

⑤ レンタルサイクル・レンタルスクーター・レンタルセグウェイ



(2) 地域内外の人々が集う多機能な複合施設

⑥ ちびっこランド



(2) 地域内外の人々が集う多機能な複合施設
⑦もぎとり農園



(2) 地域内外の人々が集う多機能な複合施設
⑧バーベキュー場



(2) 地域内外の人々が集う多機能な複合施設
⑨EV充電ステーション

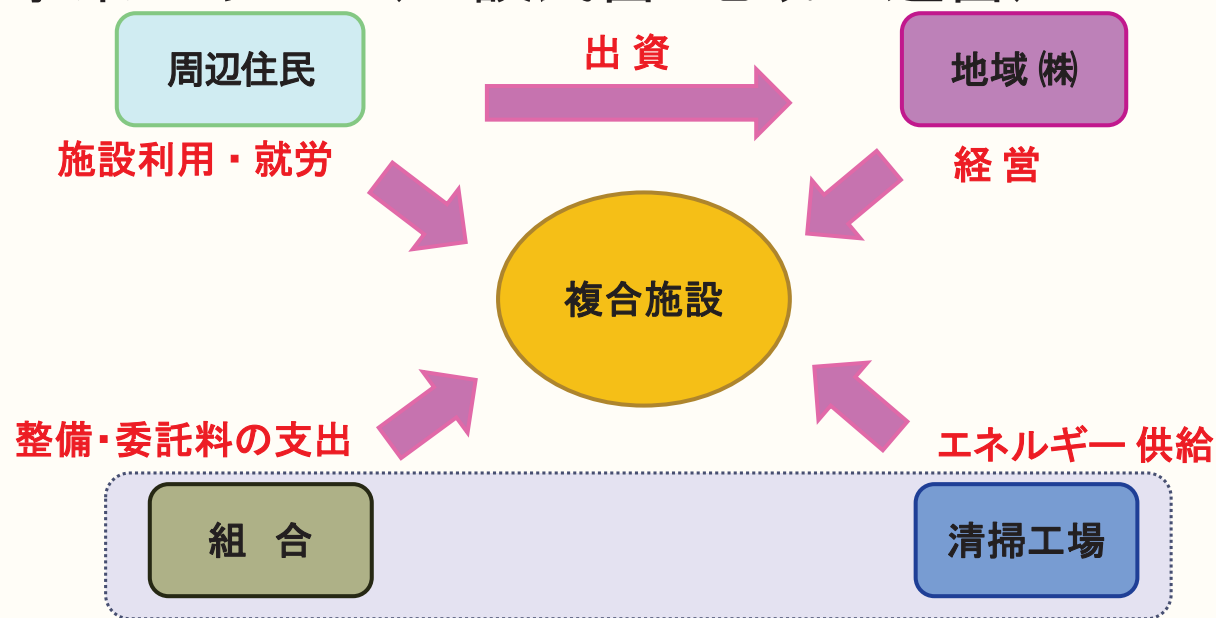


(2) 地域内外の人々が集う多機能な複合施設
⑩プレミアム地域通貨



(2) 地域内外の人々が集う 多機能な複合施設

事業スキーム(公設民営:地域が運営)



(2) 地域内外の人々が集う 多機能な複合施設

供用開始時期

次期中間処理施設の稼働開始予定年度である平成40年度以降に供用開始することを基本として検討を進める。

理由

- ・次期中間処理施設の建設工事が周辺に及ぼす影響
- ・排熱利用等の関係

(2) 地域内外の人々が集う 多機能な複合施設

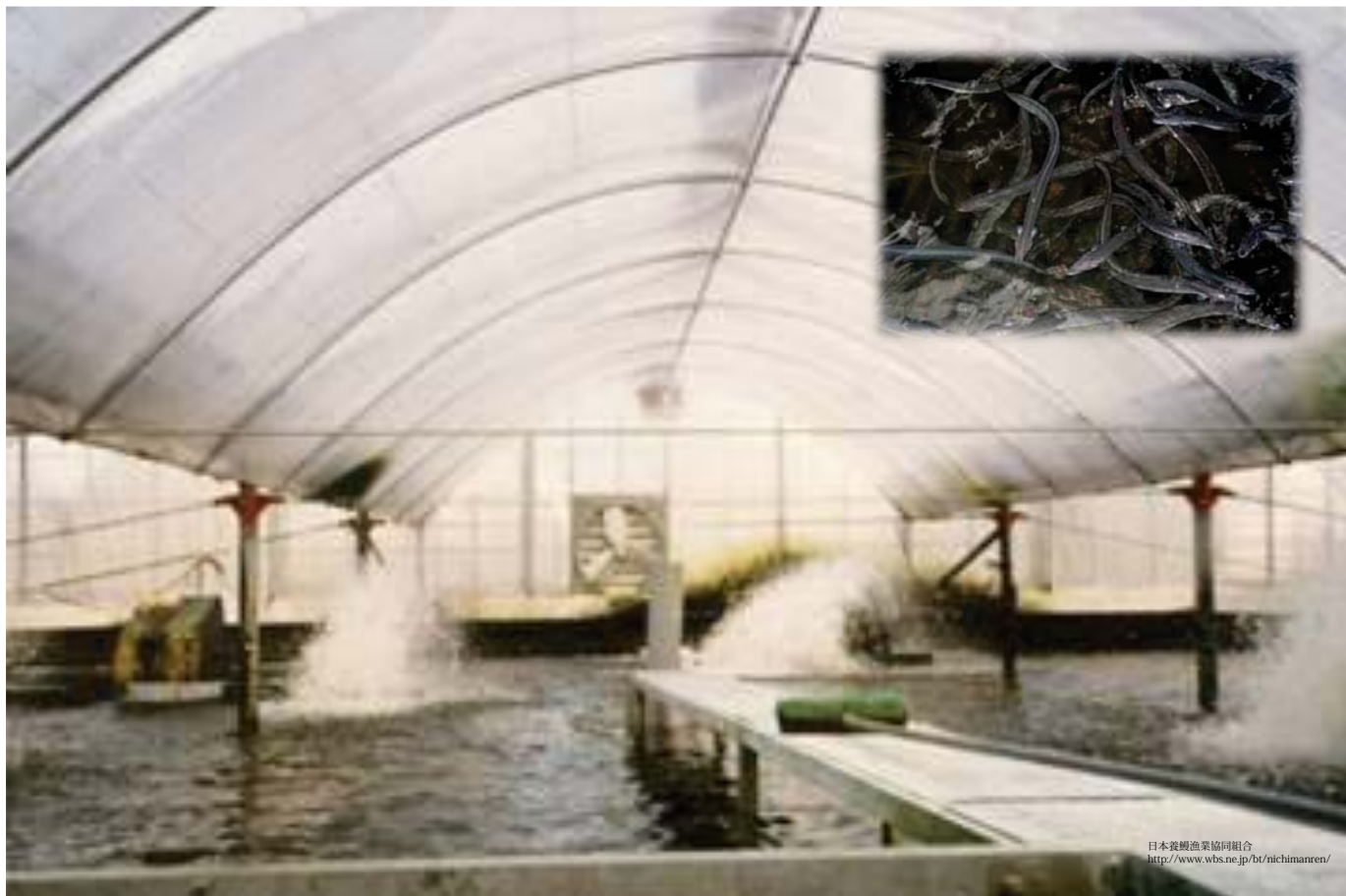
検討委員会における評価の一部抜粋

評 価	今後の協議
<ul style="list-style-type: none">◆地域活性化の起爆剤◆地域の元気を支える骨格◆収益・賑わい・雇用創出に大きく貢献	<ul style="list-style-type: none">◆次の事項を睨んだ十分な検討と選択が求められる。<ul style="list-style-type: none">・各アイデアの連携効果・印西地区全体の波及効果・経済効果・事業費

(3) 次期中間処理施設 からの排熱利用事業等

(3) 次期中間処理施設からの排熱利用事業等

① 排熱利用事業者の誘致



(3) 次期中間処理施設からの排熱利用事業等

② トランスヒートコンテナ



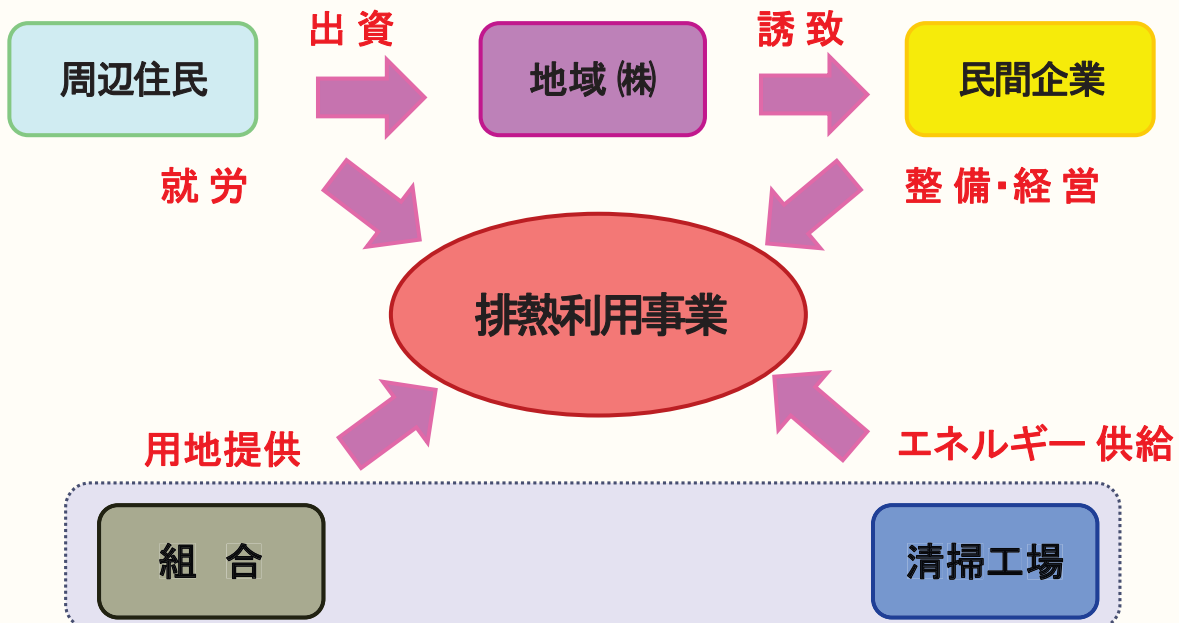
(3) 次期中間処理施設からの排熱利用事業等

③排熱供給(泉カントリー倶楽部)



(3) 次期中間処理施設からの排熱利用事業等

事業スキーム(民設民営)



(3) 次期中間処理施設からの排熱利用事業等

供用開始時期

次期中間処理施設の稼働開始予定年度である平成40年度以降に供用開始することを基本として検討を進める。

理由

- ・排熱利用等の関係

(3) 次期中間処理施設からの排熱利用事業等

検討委員会における評価の一部抜粋

評価	今後の協議
<ul style="list-style-type: none">◆地域活性化の起爆剤◆地域の元気を支える骨格◆収益・賑わい・雇用創出に大きく貢献◆安価な事業費で大きな展開に繋ぐことができる可能性	<ul style="list-style-type: none">◆次の事項を睨んだ十分な検討と選択が求められる。<ul style="list-style-type: none">・地域特性との合致・多機能な複合施設などとの連携効果・地域の潜在的ニーズ・将来性・発展性・印西地区全体への波及効果

(4) 里地里山の 保全と活用

(4) 里地里山の保全と活用 ① 市民の森構想



(4) 里地里山の保全と活用

② 森の畑構想



(4) 里地里山の保全と活用

③ 里山トイレ



(4) 里地里山の保全と活用

④ 小魚の釣堀(遊休田)



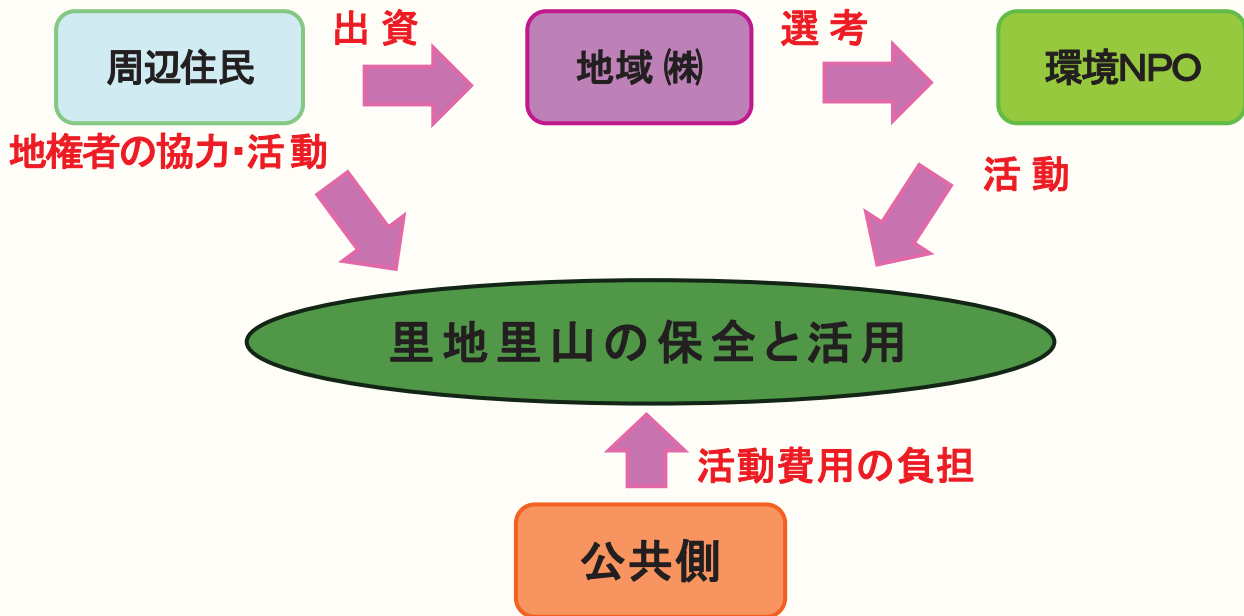
(4) 里地里山の保全と活用

⑤ 企業米



(4) 里地里山の保全と活用

事業スキーム(公設民営:環境NPOが運営)



(4) 里地里山の保全と活用

供用開始時期

整備協定後、速やかに着手することを基本として検討を進める。

(4) 里地里山の保全と活用

検討委員会における評価の一部抜粋

評 価	今後の協議
<ul style="list-style-type: none">◆「地域」と「地域で生産された農作物」のブランド化◆収益・賑わい・農業振興に間接的に貢献	<ul style="list-style-type: none">◆次の事項を睨んだ十分な検討と選択が求められる。<ul style="list-style-type: none">・効果を得るまでに長い時間を要す。・多機能な複合施設を展開しない場合は、効果が限定的

10. 学識講評

学識講評

福川委員長

高松における中心市街地の再生、「まちのシューレ963」を参考とした再開発の事例により講評

👉事業の実現には3つの柱がうまく働くことが必要である。

- ①デザイン:歴史的な都市、建築に学び、誰もが暮らしやすいコンパクトな都市へ
- ②スキーム:コミュニティに根差した事業手法
- ③ビジネス:生活スタイルをブランド化



事業実現 = 地域(株)

※地域株式会社の実現に向け、頑張っていたきたい。

学識講評

加藤副委員長

道の駅が有すべき機能と、道の駅を活用した地域振興の展望を事例に講評

- 👉 今回の次期中間処理施設整備事業は、地域が進化するチャンスである。
- 👉 地域活性化には、人(情報)、物、金というジレンマが付きまとうが、勇気を出し、階段を一段上がる、一步前に踏み出すことで風景や風向きが変わる、進化しない地域の一番の問題は人である。

※地域の皆さんには、ぜひ勇気をもって一步踏み出し頑張っていたきたい。

次期中間処理施設整備整備事業スケジュール（参考）

1 次期中間処理施設

項目		年度														
		H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)	H39 (2027)	H40 (2028)	H41 (2029)
(1)	循環型社会形成推進地域計画 第2次計画 : H24-H28 第3次計画 : H29-H33	[Yellow bar from H27 to H41]														
(2)	ごみ処理基本計画（改訂）				[Blue bar]					[Blue bar]					[Blue bar]	
(3)	関係町内会組織との合意形成（整備協定書の締結）		[Yellow bar]													
(4)	用地測量・用地買収（本体）		[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]											
(5)	地質調査（ボーリング調査）		[Green bar]													
(6)	施設整備基本計画 ①処理方式の検討 ②施設配置、余熱利用、発電等の検討 ③事業方式の検討	[Blue bar]				[Blue bar]										
(7)	施設整備基本設計 ①基本設計（造成設計を含む） ②技術提案・審査・総合評価（アドバイザー）					[Blue bar]	[Blue bar]	[Blue bar]	[Blue bar]	[Blue bar]						
(8)	環境影響評価（県条例アセスメント） ①事業計画概要書 ②方法書 ③準備書・現地調査（四季調査） ④予測・評価 ⑤施工時調査 ⑥事後調査					[Green bar]	[Green bar]	[Green bar]	[Green bar]	[Green bar]						
(9)	埋蔵文化財調査 ①現地調査 ②報告書作成			[Green bar]	[Green bar]	[Green bar]	[Green bar]									
(10)	都市計画 ①都市計画協議 ②都市計画決定案の公告及び縦覧 ③印西市都市計画審議会								[Blue bar]	[Blue bar]						
(11)	アクセス道路の工事 （測量・予備設計・用地買収・発注図書作成を含む）						[Orange bar]	[Orange bar]	[Orange bar]	[Orange bar]	[Orange bar]	[Orange bar]	[Orange bar]	[Orange bar]	[Orange bar]	
(12)	次期中間処理施設建設工事 ①契約締結・実施設計 ②建築確認申請 ③施設設置届 ④造成工事 ⑤建設工事 ⑥試運転											[Orange bar]	[Orange bar]	[Orange bar]	[Orange bar]	
															[Orange bar]	
(13)	稼働開始														[Red bar]	[Red bar]
(14)	現施設の延命化工事 ※	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]

市道松崎・吉田線
開通予定

注：各スケジュールには発注期間を含む。
※ 循環型社会形成推進交付金の交付対象事業である廃棄物処理施設基幹的設備改良事業（延命化工事）について、築25年未満の施設は、事業後10年以上施設を稼働することが、交付要件となっている。

2 地域振興策（「実際に展開する地域振興策の選択」、「地域振興策を展開する場所の選択」、「地域振興策の事業規模の程度」は、今後、周辺住民と組合との協議により決定する。）

項目		年度														
		H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)	H39 (2027)	H40 (2028)	H41 (2029)
(1)	基本計画の策定に着手（詳細計画は事業毎適期に着手）		[Blue bar]	[Blue bar]	[Blue bar]	[Blue bar]										
(2)	用地測量・用地買収（用地買収は税控除事務の関係で延伸する可能性あり）			[Yellow bar]	[Yellow bar]	[Yellow bar]										
(3)	供用開始時期（地域振興策の種別や規模により適宜供用開始）				[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]

次期中間処理施設整備事業 これまでの経緯

年度	経緯
昭和61年度	印西クリーンセンター稼働開始（1・2号炉、粗大ごみ処理施設）
平成5年度	温水センター運営開始
平成8年度	地域冷暖房システムへの余熱（蒸気）供給開始
平成10年度	3号焼却炉増設工事竣工
平成11年度	印西地区一般廃棄物最終処分場業務開始
平成20年度	現在地内の建替用地（テニスコート部）での次期施設整備を管理者・副管理者に説明する。 組合議会及び関係市町村議会から、現在地ありきではなく、他の場所も検討すべきとの意見が示される。
平成21年度	【次期中間処理施設整備検討委員会】を設置する。 組合関係市町村より5箇所が抽出され、現在地を加えた計6箇所を比較検討地とする。 （印西市：8住区、9住区、現在地 白井市：平塚 印旛村：岩戸 本埜村：みどり台三丁目） 市町村合併により組合関係市町が印西市、白井市及び栄町の3団体となる。
平成22年度	【次期中間処理施設整備検討委員会】が、比較検討地における評点合計の上位3箇所を管理者へ報告する。（8住区、9住区、現在地） 管理者・副管理者会議にて、上位3箇所を候補地とすることを決定し、当該3箇所を行政区域内に持つ印西市へ意見照会したところ、9住区又は現在地が望ましいとの回答がある。 【次期中間処理施設整備検討委員会】が、次期中間処理施設整備基本計画（案）を管理者へ報告する。
平成23年度	管理者・副管理者会議にて、9住区がより望ましいと合意し、建設予定地として決定する。 建設予定地を9住区とした住民説明会を計11回開催する。
平成24年度	板倉新印西市長が管理者に就任 印西市長から管理者へ、「現計画の白紙撤回」が申し入れされる。 【次期中間処理施設整備事業用地検討委員会】を設置する。
平成25年度	【次期中間処理施設整備事業用地検討委員会】が、候補地選定方法に関する中間答申書を管理者へ提出する。 【次期中間処理施設整備事業用地検討委員会】が、候補地を印西地区内から広く募集し、6箇所の応募を受理する。 （岩戸地区、草深地区、滝地区、武西地区①、武西地区②、吉田地区） ※後に草深地区と武西地区①は辞退
平成26年度	【次期中間処理施設整備事業用地検討委員会】が、最終的な応募地4箇所に現在地を加えた5箇所を候補地として位置付け、比較評価する。 候補地の一つである吉田地区の地元町内会（吉田区）から、同意書が提出される。 【次期中間処理施設整備事業用地検討委員会】が、候補地の比較評価結果に関する最終答申書を管理者へ提出する。 管理者・副管理者会議（建設候補地選定会議）にて、吉田地区を建設候補地として選定する。 地元町内会である吉田区と組合で、吉田地区を建設候補地として決定したことを確認及び両者の役割等を定めた基本協定を締結する。

次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会

会議等開催経過

会議等	開催日時	主な内容
第1回会議	平成27年5月24日 13:00～15:25	①委嘱式 ②委員長及び副委員長の選任 ③関係法規 ④今後のスケジュール ⑤会議の運営
現地調査	平成27年6月21日 9:45～12:00	①建設候補地内及び周辺地域を徒歩により調査 ②印西地区一般廃棄物最終処分場を見学
第2回会議	平成27年6月21日 13:00～16:00	①検討委員会のスケジュール ②次期中間処理施設整備事業のスケジュール ③次期中間処理施設整備の基本方針 ④次期中間処理施設の処理システム・処理方式
第3回会議	平成27年7月12日 13:00～15:15	①計画施設規模の検証 ②計画ごみ質 ③公害防止基準 ④プラントメーカーアンケート
先進地視察	平成27年8月4日	①さいたま市桜環境センター シャフト式ガス化溶融炉 ②川崎市王禅寺処理センター ストーカ炉
第4回会議	平成27年8月23日 13:00～15:30	①検討委員会等スケジュール ②リサイクルセンター
松崎区との意見交換会（第1回）	平成27年9月5日 14:00～16:00	①中間報告 ・審議経過 ・次期中間処理施設の整備スケジュール ・次期中間処理施設整備の基本方針 ・地域振興策総合パッケージ ※地域振興策検討委員会と合同開催
吉田区との意見交換会（第1回）	平成27年9月5日 19:00～20:30	① 同上

会議等	開催日時	主な内容
第5回会議	平成27年9月13日 13:00~15:35	①施設の安全対策等 ②エネルギーバランス ③処理方式の選定
第6回会議	平成27年10月17日 13:00~15:45	①エネルギーバランス ②排ガス自主規制値(案) ③施設整備基本計画(その1)
第7回会議	平成27年11月15日 13:00~15:30	①エネルギーバランス ②防災拠点化 ③事業方式
第8回会議	平成27年12月13日 13:00~15:15	①事業方式 ②造成計画 ③アクセス道路
第9回会議	平成28年1月17日	①答申書の素案
パブリックコメントの募集	平成28年2月1日 ~ 平成28年2月15日	①答申書の素案に対するパブリックコメントの募集
松崎区との意見交換会(第2回)	平成28年2月6日	①答申書の素案に対する意見交換 ※地域振興策検討委員会と合同開催
吉田区との意見交換会(第2回)	平成28年2月6日	①同上
検討結果説明会	平成28年3月6日	①答申書の素案に対する説明会(印西地区全体)
第10回会議	平成28年3月13日	①答申書の素案の最終調整
答申書授受式	平成28年3月30日	① 答申書を管理者へ提出

※「パブリックコメントの募集」以降は予定

次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会

会議等開催経過

会議等	開催日時	主な内容
第1回会議	平成27年5月24日 13:00～15:15	①委嘱式 ②委員長及び副委員長の選任 ③関係法規 ④今後のスケジュール ⑤会議の運営
現地調査	平成27年6月28日 10:00～11:50	①建設候補地内及び隣接地域を徒歩により調査 ②建設候補地周辺の里地里山を車両から確認
第2回会議	平成27年6月28日 13:00～16:00	①地域振興策の検討ポイント ②地域振興策の検討スケジュール ③地域振興策に関する吉田区のブレインストーミング結果
第3回会議	平成27年7月26日 13:00～16:00	①地域に求められる将来像 ②地域の課題 ③地域振興策のイメージ図 ④地域振興策のアイデア ⑤吉田区の課題と解決案
第4回会議	平成27年8月30日 13:00～15:40	①地域振興策のアイデア ②地域振興策総合パッケージ
松崎区との意見交換会（第1回）	平成27年9月5日 14:00～16:00	①中間報告 ・審議経過 ・次期中間処理施設の整備スケジュール ・次期中間処理施設整備の基本方針 ・地域振興策総合パッケージ ※施設整備基本計画検討委員会と合同開催
吉田区との意見交換会（第1回）	平成27年9月5日 19:00～20:30	① 同上

会議等	開催日時	主な内容
第5回会議	平成27年9月27日 13:00~15:00	①地域振興策総合パッケージの概要 (中間決定案) ②地域振興策の概略事業スキーム ③地域振興策の展開スケジュール
第6回会議	平成27年10月25日 13:00~15:00	①今後の調査審議事項
第7回会議	平成27年11月29日 13:00~15:40	①地域振興策の概略事業スキーム ②地域振興策総合パッケージの展開種別毎の 評価(様式)
第8回会議	平成27年12月20日 13:00~15:40	①地域振興策の未来像 ②地域振興策総合パッケージの展開種別毎の 評価
第9回会議	平成28年1月24日	①答申書の素案
パブリックコメン トの募集	平成28年2月1日 ~ 平成28年2月15日	①答申書の素案に対するパブリックコメント の募集
松崎区との意見交 換会(第2回)	平成28年2月6日	①答申書の素案に対する意見交換 ※施設整備基本計画検討委員会と合同開催
吉田区との意見交 換会(第2回)	平成28年2月6日	①同上
先進地視察	平成28年2月18日	①日帰りバス視察 ・笠間ラインガルテン(宿泊型市民農園) ・水戸市植物園・温室団地(排熱利用施設) ・みずほの村市場(民間の農作物直売所)
検討結果説明会	平成28年3月6日	①答申書の素案に対する説明会(印西地区全体)
第10回会議	平成28年3月27日	①答申書の素案の最終調整
答申書授受式	平成28年3月30日	①答申書を管理者へ提出

※「パブリックコメントの募集」以降は予定